

玄海原子力発電所における防災訓練（総合訓練）実施結果の要旨

防災訓練実施日		平成 2 5 年 1 1 月 2 1 日
想定した原子力災害の概要		・ 3 , 4 号機で原子力災害対策特別措置法第 1 5 条事象に至る原子力災害を想定。 ・ 3 , 4 号機で原子炉冷却材漏えいが発生後、全交流電源喪失により、全ての非常用炉心冷却装置が作動不能となり、さらに、4 号機は原子炉の冷却機能が全て喪失する事象を想定。
防災訓練の項目		総合訓練
防災訓練の結果の概要	参加人数	5 3 6 名（協力会社 1 6 2 名）
	内 容	(1) アクシデントマネジメント訓練 (2) 緊急時対応訓練 (3) 原子力防災要員の動員訓練 (4) 通報訓練 (5) 緊急被ばく医療訓練 (6) モニタリング訓練 (7) 避難誘導訓練 (8) 緊急時操作演習
	評 価	○ 原子力災害への事故対応等を適切に行えることを確認 ○ 昨年度の訓練結果を踏まえ充実を図った内容が適切に反映されていることを確認 ・ 本店及び支援側の川内との T V 会議の運用方法の改善 事故収束に取り組む、玄海と本店の会話を優先し、支援側の川内は、T V 会議の映像確認や音声の聞き取りだけの情報収集に留め、必要時は電話連絡とした ・ 発電所対策本部内における情報共有方法の改善 非常事態対策本部を円滑に運営するため、優先すべき報告事項等を整理した要領を作成し、関係者へ周知した上で訓練を実施 ・ 固定電話回線が使用できない場合を想定した通報訓練の充実 衛星回線を用いた訓練を実施し、適切に使用できることを確認
今後の訓練に反映する内容及びその他の検討項目		○ より一層の充実を図る観点から、今後の訓練に反映する内容 ・ 発電所内での複数の負傷者発生を想定した緊急被ばく医療訓練の実施を検討 ・ 複数号機で同時に原子力災害が発生する等、厳しい事故を想定した訓練における、情報収集・整理・伝達等の対応能力の継続的向上 ・ 放射性物質放出時に、代替緊急時対策所内への空気を取り込みを停止した場合を想定し、作業環境を確認するために測定された酸素濃度及び二酸化炭素濃度を、ホワイトボードに記載する等、情報共有方法を検討 ・ モニタリング訓練において、天候不良時にダスト、よう素の確実な採取・測定ができるよう、テント等の現地への運搬・設置を検討 等 ○ その他の検討項目 ・ 福島第一事故を踏まえ、全交流電源喪失発生によるシビアアクシデント事故を想定した訓練を継続するとともに、その他のシビアアクシデント事故を想定した訓練内容についての検討